

廣報第4号

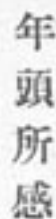
し斗頭に彫て

市長 渡邊 榮一

おめでたい新年を迎えまして

市民の皆様へ

心からお喜びの言葉を申し上げます。



岸東一郎

市議会の改選、行政機構の刷新など諸事一新、大美濃加茂市としての飛躍発展の年であらしめたいと思つております。

臨海の一里塚、輝やかしい新年を迎え、覚悟も新たに、年頭の御挨拶といたします。

英 美 加 茂 市 校 所
電 話 英 美 加 茂 511 香
編 集
企 國 調 整 策
大 印 刷 堂
英 美 加 茂 市 太 田 町

老朽校舎一掃を目指して

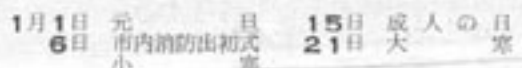
市内三校の新改築、牧野公民館新築進む

設計は實利本位に

三校の新改築については、今年度の初めから色々と準備が進められていました。が、旧年十一月四日、忽ち数回にわたる設計についての打ち合わせが行われたのち、岡崎、伊藤、田村の各一級設計士によつて理想的な設計を完了

し、市議会の議決を得て直ちに地味な競争入札の結果、山之上小は大日本土木、三和小、伊深中は杉山建設に請渡された。

建築される各校舎の特徴として三校とも中央部二階建の安定した姿をしており、特に山之上小は二階建の部分に鉄筋コンクリート造りとなっている。各教室も、採光通風、防音など環境整備に最も意を注いだ近代様式をとり入れている。又三校とも完全給食の設備と図書室等多くの特別教室、放送施設などすべて完備しており、実用



上水道計畫成る

昭和三十年から四ヶ年継続で施工するやう申請書提出。

旧年九月二日東京回の水道準備委員をひらいてから、市の上水道布設の計画が練られてきました。その計画の概要がまことりた。

伊深町
全域に給水？

簡易水道
第二期工事計画

市内伊保町では現在上下水郷、関也の各地区に簡易水道を布設して給水を行っていますが、残る大洞、中切、寺崎、別所の四部落も給水したいと計画が樹てられ、県に認可申請を提出しました。

その計画では、水源地は大洞地内伊保川の上流部で山麓に一米四方深さ一米の井戸を設け湧水を集めて配水することになっている。



火のもとに御用心

火のもとに御用心

禁火、コタツなど大災の危険が多い季節です、お互いに火のもとに気をつけましょう。

この水道が完成すれば、市民の自衛の改善はもちろん、工場誘致をはじめ、商工業の発展が大いに促進されることになり、その完成が期待されています。

住み良い街造りに御協力を

都計 区劃整理準備すすむ

市内の太田駅前東の区域は、最近急速に商店、住宅が増えて、面目を一新しつつありますが、新しい家は夫々勝手に建築されるものが多分にあります。それは都市美の上からいっても又衛生上、防火上からも非常に支障になって、市街地の発展が阻害されることになりまふ。

そこで、市ではまず同地区約五万坪の区劃整理として、道路の整

自衛隊に感謝を！！

機動部隊の協力を得て前平地内整地完了

去る十月十四日、豊川の自衛隊が市の要請により、ブルドーザー四台と隊員五十一名が来市し、加

蜂屋——山之上

巡回バス開通

千立方メートルにわたつて、山を切り削し、池を埋めて、みる／＼うちに立派に整地作業を完了した。

このグラランドは三方ならかなな丘陵にのこられ、南方に御手洗池をこえて市の中心地を望む絶好の地で、将来グラランドとして、整頓し今後市民のスポーツのセンターとしての発展が大いに期待されています。

然しこの裏には豊川自動車隊員の

市内循環バス調整を目撃して年末からまず太田、古井、山之上、峰屋を結ぶ、循環バスが運転されていきます。これからも、伊保、三和と太田を結ぶもの、下米田や加茂野なども含めて市内全町を結ぶ循環バス運転を、各自動車会社の協力を得て、現在の路線の改良あるいは、新設などによつて強く推進される様、今後も努力



胸を張つてさあ出発

成人の式典

一月十五日は「成人の日」です。昔はこの日に「元服」といって、十八才に達する男が、一人前のきまりになる厳粛な式を行つたものですが今では毎年この日を「成人の日」と名付けて、その年に成人に達する青年のために、国民全部が心からお祝いし、これからは切り立ちのできる一人の社会人としての誇りと、責任をもつて生活を奮いてゆくうちに激励し、自覚を求める日と決められています。

連合者全員を市内太田公民館にあつめて、お祝いとお激励の会を催します。十五日は午前十時に開式し、各方面よりの激励のことばと、記念品として旗のような心と身だになみをとの「手鏡」を贈られたのち、市長、加茂高校長の講演があつて、市づくしの赤飯の昼食を添上げることになつています。

おひるからは、レクリエーションとして、県下演劇界の雄、「木曜座」の出演によつて、「赤い旗羽織」一幕三場が上演されます。

成人の式典／

月十五日は「成人の日」です。昔はこの日に、元々といつて、十八才に達する男子が、一人前のきむになる厳粛な式を行つたのです。今では毎年これを「成人の日」と名付、その年に成人に達する者のために、国民全部からお祝いし、これから立ちのびできる一人としての誇りと、責任を覚悟してゆくように微々を求める日と決められ

通令者全員を市内太田公民館に集めて、お祝いと激励の会を催します。十五日は午前10時に開式し、各方面よりの激励のことばと、記念品として銀のような心と身だにのみをとの「手鏡」を贈られたのち、市長、加茂高校長の講演があつて、心ずくしの赤飯の昼食を並べ、心づくことになつていきます。

おひるからは、レクリエーションとして、県下演劇界の雄、「木曜座」の出演によつて、「赤い磯羽織」一幕三場が上演されます。

大澤泰二さん

一家ブラジルへ

師走のあわただしきも迫つた、十二月十日朝、太田駅二番ホームは時ならぬ見送りの人で埋つた。
 送られる人は、今度ブラジルに飛躍する、太田町の大沢薬二さん一家六人と弟の武丸さんの七人である。この一家は国が百世帯のブラジル移民を募集したので、県下から二十一日神戶港を出発した。
 一家はバウ湖ベルテラダム國で約五町歩を管理することになっている。現地には約三百世帯の邦人が住んでおり、今後も移民は続けられるという。